

神栖市社会福祉協議会

どなたでもご自由に参加できます。
神栖社協ホームページにも掲載中！

地域ネットワークニュース

～平成22年12月の勉強会のお知らせ & 11月の勉強会報告～

リハビリテーションを 見直そう！

講師

神栖ケアサポートセンター 作業療法士 中川 明氏
介護老人保健施設シオン 理学療法士 府中達也氏
介護老人保健施設とよさと 理学療法士 太田恭平氏

第158回地域ネットワーク勉強会

12月14日(火)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内にて

参加費無料

リハビリテーションは「リハビリテーション＝機能回復訓練（関節の曲げ伸ばしやマッサージ、歩行訓練など）」と思われていますが、最も重要なことは、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」に主眼をおくことであり、そのために行われるすべての活動が「リハビリテーション」です。



今までリハビリテーションとは、病気、怪我、老化現象など、さまざまな原因によって生じた心身の障害に対して、その障害が元の状態に戻るような訓練を行なうことだと考えられがちでした。

しかし現在は、障害を持った人が障害を持ったままでも、よりよい人生を送ることができるよう、支援を行なっていくことが重要であると考えられています。そのためには、今までの生活の中で、「できなくなってしまったこと」や「こんなことがしたい」という希望に対して、本人を支える人々やリハビリテーションによって、残された能力を最大限にひきだし、一人ひとりの人生に合った生活能力を獲得し、豊かな人生を送るようになることが大切です。

そこで、今回の勉強会ではリハビリテーションの有効的な利用について考える機会として、リハビリテーションの導入に際しての注意点やその効果を具体的な事例を踏まえて伝えて頂きます。

ケアマネジャーや福祉サービス事業所職員など高齢者や障害者に関わる支援者にとって、今後の支援の参考になる勉強会です。ふるってご参加下さい。

お問合せ：電話 0299-93-0294 神栖市社会福祉協議会 まちづくりグループ 三浦

第157回地域ネットワーク勉強会報告 平成22年11月17日開催＜参加者18名＞

地域医療における救急医療体制とその課題

【鹿島労災病院 看護副部長 鈴木恵美子氏】

救急での来院は、日中 夜間 休日を問わず増加傾向にあります。

医療機関は日々、全力で患者さんと向き合っていますが、全ての救急患者を受け入れることは難しく、救急通報時の症状や来院時の状態によっては他院へ紹介 搬送するなど、適切な治療へと結びつけるために、素早い判断が要求されています。

また鹿島労災病院では、救急医療体制の充実を図るため、救急委員会を設置し、地域の救急隊との事例検討や情報交換を重ね、地域での医療連携に努めています。

全国的にも救急医療についての課題がメディア等で報道されていますが、救急医療を含む地域医療の発展は、医療機関のみで成されることなく、医療 福祉 行政などの関係機関と地域住民が一体となって考えなければならないことを理解することができました。

